

「平成26年中の交通事故死者数について」

～ 14年連続で減少 ～

○ 平成26年中の交通事故死者数（24時間以内）

4, 113人（前年比-260人、-5.9%）

○ 死者の最多・最少日

- ・ 最多日：12月19日（金） 22人
- ・ 最少日：4月29日（火） 3人
5月27日（火） 3人
9月 3日（水） 3人

○ 一日平均死者数

11.27人（平成25年中：11.98人）

<2時間08分に1人>（平成25年中：2時間00分に1人）

【添付資料】

1	交通事故発生状況の推移	1
2	月別交通事故死者数の推移	2
3	都道府県別交通事故死者数	3
4	高齢者死者数の推移	4
5	飲酒事故件数の推移	4
6	死者3人以上の交通事故の発生状況	5
7	国家公安委員会委員長のコメント	6
8	警察庁長官のコメント	7

1 交通事故発生状況の推移

○ 交通事故発生状況の推移（昭和23年～平成26年）

年	発生件数		負傷者数		死者数	
	(件)	指数	(人)	指数	(人)	指数
昭和 23 年	21,341	...	17,609	...	3,848	23
24	25,113	...	20,242	...	3,790	23
25	33,212	...	25,450	...	4,202	25
26	41,423	...	31,274	...	4,429	26
27	58,487	...	43,321	...	4,696	28
28	80,019	...	59,280	...	5,544	33
29	93,869	...	72,390	...	6,374	38
30	93,981	...	76,501	...	6,379	38
31	122,691	...	102,072	...	6,751	40
32	146,833	...	124,530	...	7,575	45
33	168,799	...	145,432	...	8,248	49
34	201,292	...	175,951	...	10,079	60
35	449,917	...	289,156	29	12,055	72
36	493,693	...	308,697	31	12,865	77
37	479,825	...	313,813	32	11,445	68
38	531,966	...	359,089	37	12,301	73
39	557,183	...	401,117	41	13,318	79
40	567,286	...	425,666	43	12,484	74
41	425,944	59	517,775	53	13,904	83
42	521,481	73	655,377	67	13,618	81
43	635,056	88	828,071	84	14,256	85
44	720,880	100	967,000	99	16,257	97
45	718,080	100	981,096	100	16,765	100
46	700,290	98	949,689	97	16,278	97
47	659,283	92	889,198	91	15,918	95
48	586,713	82	789,948	81	14,574	87
49	490,452	68	651,420	66	11,432	68
50	472,938	66	622,467	63	10,792	64
51	471,041	66	613,957	63	9,734	58
52	460,649	64	593,211	60	8,945	53
53	464,037	65	594,116	61	8,783	52
54	471,573	66	596,282	61	8,466	50
55	476,677	66	598,719	61	8,760	52
56	485,578	68	607,346	62	8,719	52
57	502,261	70	626,192	64	9,073	54
58	526,362	73	654,822	67	9,520	57
59	518,642	72	644,321	66	9,262	55
60	552,788	77	681,346	69	9,261	55
61	579,190	81	712,330	73	9,317	56
62	590,723	82	722,179	74	9,347	56
63	614,481	86	752,845	77	10,344	62
平成 元年	661,363	92	814,832	83	11,086	66
2	643,097	90	790,295	81	11,227	67
3	662,392	92	810,245	83	11,109	66
4	695,346	97	844,003	86	11,452	68
5	724,678	101	878,633	90	10,945	65
6	729,461	102	881,723	90	10,653	64
7	761,794	106	922,677	94	10,684	64
8	771,085	107	942,204	96	9,943	59
9	780,401	109	958,925	98	9,642	58
10	803,882	112	990,676	101	9,214	55
11	850,371	118	1,050,399	107	9,012	54
12	931,950	130	1,155,707	118	9,073	54
13	947,253	132	1,181,039	120	8,757	52
14	936,950	130	1,168,029	119	8,396	50
15	948,281	132	1,181,681	120	7,768	46
16	952,709	133	1,183,616	121	7,425	44
17	934,339	130	1,157,115	118	6,927	41
18	887,257	124	1,098,566	112	6,403	38
19	832,691	116	1,034,653	105	5,782	34
20	766,382	107	945,703	96	5,197	31
21	737,628	103	911,215	93	4,968	30
22	725,903	101	896,294	91	4,922	29
23	692,056	96	854,610	87	4,663	28
24	665,138	93	825,396	84	4,411	26
25	629,021	88	781,494	80	4,373	26
26	573,465	80	709,989	72	4,113	25

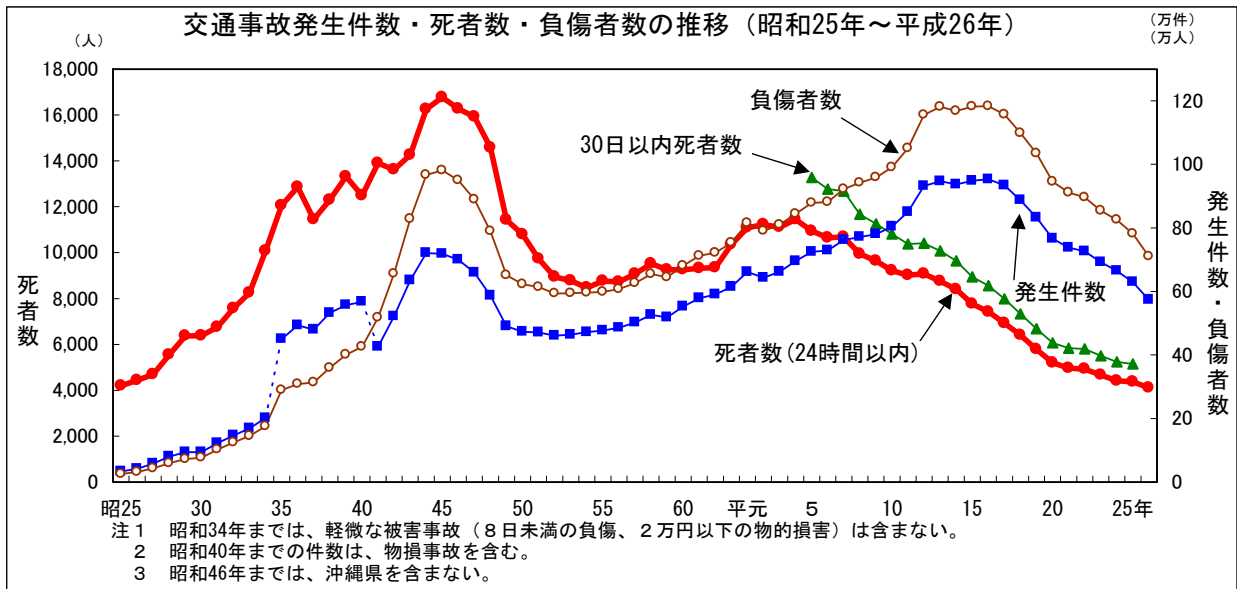
注1 昭和34年までは、軽微な被害事故（8日未満の負傷、2万円以下の物的損害）は含まない。

2 昭和40年までの件数は、物損事故を含む。

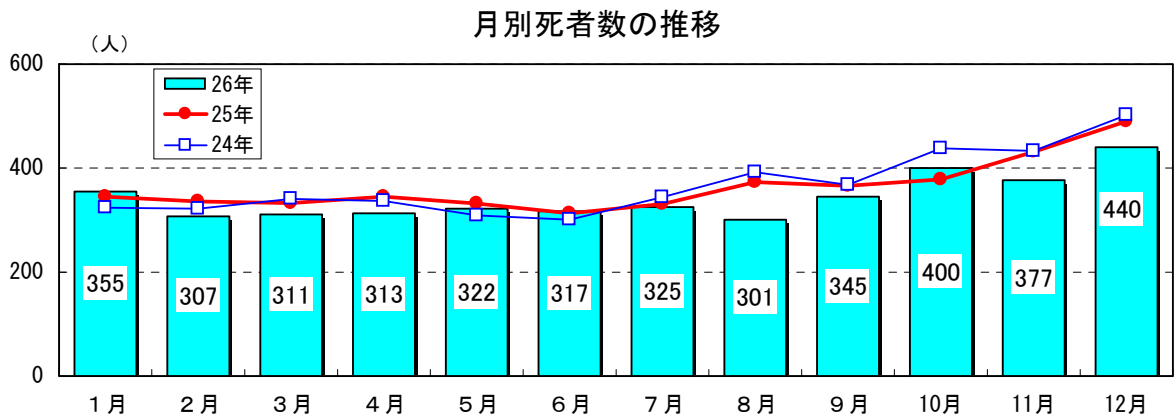
3 昭和46年までは、沖縄県を含まない。

4 指数は、昭和45年を100とした値である。

5 平成26年の発生件数及び負傷者数は交通事故日報集計システムにより集計された概数である。



2 月別交通事故死者数の推移



○ 月別死者数の推移

年	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	上半期計	7月	8月	9月	10月	11月	12月	下半期計	年間合計
昭和	45年	1,237	1,140	1,379	1,271	1,419	1,289	7,735	1,480	1,545	1,467	1,476	1,515	1,547	9,030	16,765
平成	11年	715	642	699	680	742	717	4,195	759	770	695	805	854	934	4,986	9,012
	12	728	667	780	697	695	697	4,264	747	806	686	835	867	868	4,817	9,073
	13	619	637	764	666	663	662	4,011	743	745	726	824	834	874	4,809	8,757
	14	648	633	736	691	642	623	3,973	656	698	670	762	801	836	4,746	8,396
	15	597	560	625	573	609	573	3,537	586	711	644	740	748	802	4,423	7,768
	16	561	517	624	611	587	563	3,463	640	627	587	649	692	767	4,231	7,425
	17	563	472	573	531	499	511	3,149	582	614	637	616	655	674	3,962	6,927
	18	535	426	555	489	474	469	2,948	527	569	509	548	650	652	3,778	6,403
	19	495	451	452	423	430	427	2,678	473	527	475	549	508	572	3,455	5,782
	20	403	361	388	402	387	371	2,312	449	475	398	502	491	570	3,104	5,197
	21	384	364	387	357	404	352	2,248	380	438	405	467	489	541	2,885	4,968
	22	393	352	366	353	380	354	2,198	407	434	412	469	425	577	2,720	4,922
	23	331	360	381	370	346	343	2,131	363	408	378	471	429	483	2,724	4,663
	24	324	322	341	337	309	301	1,934	344	392	368	438	433	502	2,532	4,411
	25	345	336	333	345	332	313	2,004	331	373	366	378	431	490	2,369	4,373
	26	355	307	311	313	322	317	1,925	325	301	345	400	377	440	2,188	4,113
	増減数	10	-29	-22	-32	-10	4	-79	-6	-72	-21	22	-54	-50	-181	-260
	増減率	2.9	-8.6	-6.6	-9.3	-3.0	1.3	-3.9	-1.8	-19.3	-5.7	5.8	-12.5	-10.2	-7.6	-5.9
	1日当たり死者数	11.5	11.0	10.0	10.4	10.4	10.6	10.6	10.5	9.7	11.5	12.9	12.6	14.2	11.9	11.3

注1 増減数(率)は、前年と比較した値である。

注2 昭和45年は死者数が最も多い年である。

3 都道府県別交通事故死者数

(1) 多い都道府県

順位	都道府県	死者数
1	愛知	204人
2	神奈川	185人
3	千葉	182人
3	兵庫	182人
5	埼玉	173人

(2) 少ない都道府県

順位	都道府県	死者数
1	島根	26人
2	徳島	31人
3	鳥取	34人
4	沖縄	36人
5	秋田	37人

(3) 増加した都道府県

順位	都道府県	死者数
1	三重	+18人
2	神奈川	+17人
3	山梨	+11人
4	佐賀	+10人
5	鳥取	+9人

全16都県

(4) 減少した都道府県

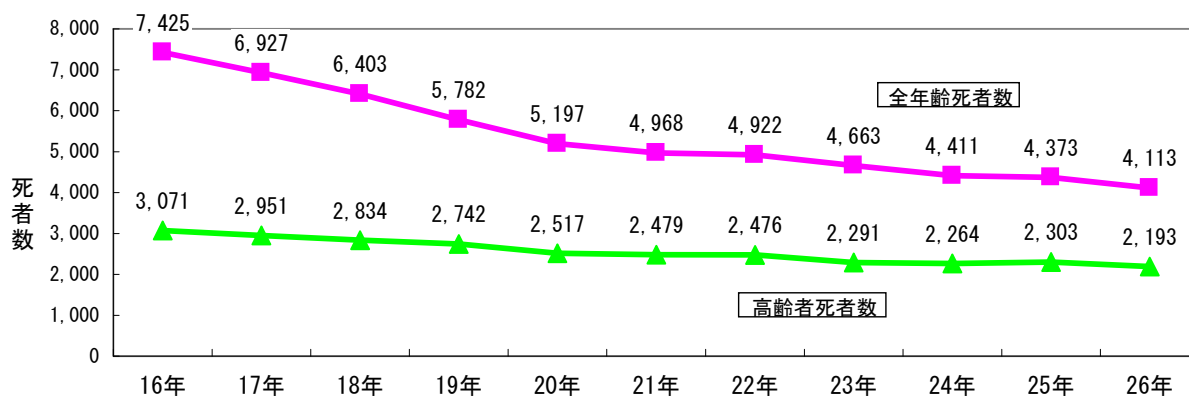
順位	都道府県	死者数
1	静岡	-41人
2	大阪	-36人
3	岐阜	-32人
4	茨城	-31人
5	長野	-18人
5	徳島	-18人

全31道府県

都道府県名	1月1日~12月31日							
	平26年	順位	平25年	増減数	順位	増減率	順位	
北海道	札幌	82	...	93	-11	...	-11.8%	...
	函館	16	...	14	2	...	14.3%	...
	旭川	33	...	29	4	...	13.8%	...
	釧路	29	...	31	-2	...	-6.5%	...
	北見	9	...	17	-8	...	-47.1%	...
計	169	7	184	-15	38	-8.2%	29	
東 北	青森	54	32	48	6	7	12.5%	6
	岩手	64	26	72	-8	31	-11.1%	33
	宮城	83	20	88	-5	24	-5.7%	24
	秋田	37	43	48	-11	36	-22.9%	44
	山形	44	39	39	5	8	12.8%	5
福島	87	19	79	8	6	10.1%	7	
計	369	...	374	-5	...	-1.3%	...	
東 関	東京	172	6	168	4	10	2.4%	13
	茨城	132	11	163	-31	44	-19.0%	41
	栃木	102	15	101	1	15	1.0%	15
	群馬	67	25	73	-6	26	-8.2%	30
	埼玉	173	5	180	-7	29	-3.9%	22
	千葉	182	3	186	-4	21	-2.2%	18
	神奈川	185	2	168	17	2	10.1%	8
	新潟	103	14	107	-4	21	-3.7%	21
	山梨	49	34	38	11	3	28.9%	2
	長野	82	21	100	-18	42	-18.0%	40
静岡	143	9	184	-41	47	-22.3%	43	
計	1,218	...	1,300	-82	...	-6.3%	...	
東 中 部	富山	44	39	53	-9	34	-17.0%	38
	石川	55	31	61	-6	26	-9.8%	31
	福井	49	34	57	-8	31	-14.0%	34
	岐阜	93	17	125	-32	45	-25.6%	45
	愛知	204	1	219	-15	38	-6.8%	26
	三重	112	13	94	18	1	19.1%	4
計	557	...	609	-52	...	-8.5%	...	
近 畿	滋賀	63	27	74	-11	36	-14.9%	35
	京都	69	24	70	-1	17	-1.4%	17
	大阪	143	9	179	-36	46	-20.1%	42
	兵庫	182	3	187	-5	24	-2.7%	20
	奈良	45	38	42	3	11	7.1%	9
和歌山	39	42	47	-8	31	-17.0%	39	
計	541	...	599	-58	...	-9.7%	...	
中 国	鳥取	34	45	25	9	5	36.0%	1
	島根	26	47	28	-2	19	-7.1%	27
	岡山	90	18	107	-17	41	-15.9%	36
	広島	117	12	116	1	15	0.9%	16
	山口	58	28	65	-7	29	-10.8%	32
計	325	...	341	-16	...	-4.7%	...	
四 国	徳島	31	46	49	-18	42	-36.7%	47
	香川	52	33	55	-3	20	-5.5%	23
	愛媛	75	23	70	5	8	7.1%	9
	高知	41	41	42	-1	17	-2.4%	19
計	199	...	216	-17	...	-7.9%	...	
九 州	福岡	147	8	145	2	13	1.4%	14
	佐賀	56	29	46	10	4	21.7%	3
	長崎	49	34	47	2	13	4.3%	11
	熊本	76	22	82	-6	26	-7.3%	28
	大分	56	29	60	-4	21	-6.7%	25
	宮崎	49	34	59	-10	35	-16.9%	37
鹿児島	94	16	91	3	11	3.3%	12	
沖縄	36	44	52	-16	40	-30.8%	46	
計	563	...	582	-19	...	-3.3%	...	
合計	4,113	...	4,373	-260	...	-5.9%	...	

4 高齢者（65歳以上）死者数の推移

高齢者（65歳以上）死者数の推移（各年12月末）



○ 高齢者（65歳以上）死者数の推移（各年12月末現在）

	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	増減数	増減率	指数
高齢者	3,071	2,951	2,834	2,742	2,517	2,479	2,476	2,291	2,264	2,303	2,193	-110	-4.8	71
全年齢	7,425	6,927	6,403	5,782	5,197	4,968	4,922	4,663	4,411	4,373	4,113	-260	-5.9	55
高齢者構成率	41.4	42.6	44.3	47.4	48.4	49.9	50.3	49.1	51.3	52.7	53.3	-	-	-

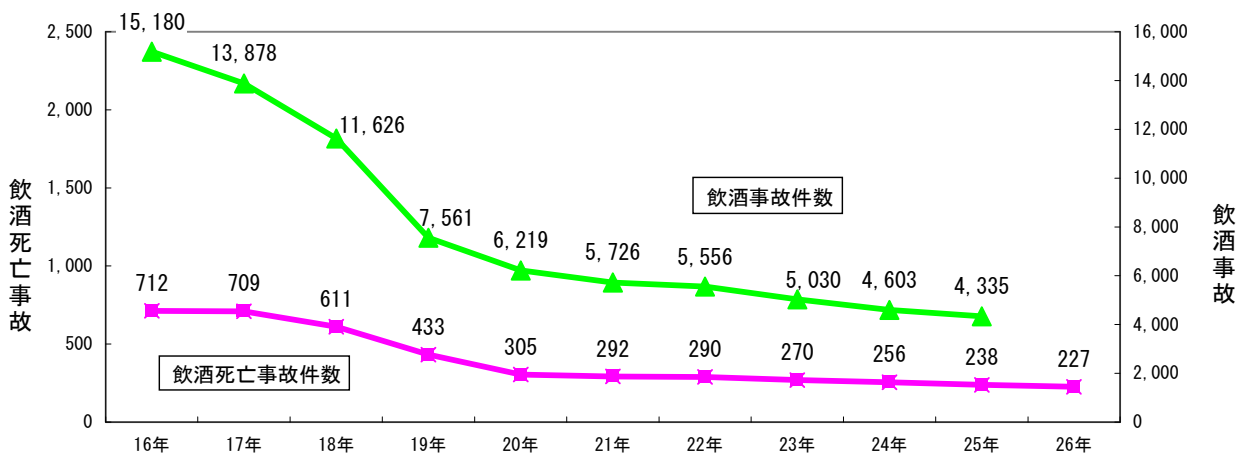
注1 増減数（率）は、前年同期と比較した値である。

注2 指数は、平成16年を100としたものである。

注3 平成26年の高齢者死者数は、12月31日現在の交通事故日報集計システムにより集計された概数である。

5 飲酒事故件数の推移

飲酒事故発生件数の推移（各年12月末）



○ 原付以上運転者（第1当事者）の飲酒事故発生件数の推移（各年12月末現在）

	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	増減数	増減率	指数
飲酒事故	15,180	13,878	11,626	7,561	6,219	5,726	5,556	5,030	4,603	4,335	4,335	-	-	-
飲酒死亡事故	712	709	611	433	305	292	290	270	256	238	227	-11	-4.6	32

注1 増減数（率）は、前年同期と比較した値である。

注2 指数は、平成16年を100としたものである。

注3 平成26年の飲酒死亡事故件数は、12月31日現在の交通事故日報集計システムにより集計された概数である。

6 死者3人以上の交通事故の発生状況

NO	発生日時	発生場所	死傷者	関係車両等	交通事故の概要
1	1月13日 21時50分ころ	国道 (沖縄)	死亡3 重傷2 軽傷1	大型貨物1 軽四乗用2	中東郡北中城村内の国道において、大型貨物車が緩やかな左カーブを進行中、自車の牽引する被牽引車の荷台から落下した積載物(鉄筋コンクリート製橋げた)が対向車線に進出して、対向車線を進行していた軽四乗用車2台に衝突し、1台の軽四乗用車の乗員2名中、2名が死亡、もう1台の軽四乗用車の乗員4名中、運転者が重傷、同乗者1名が死亡、1名が重傷、1名が軽傷を負ったもの。
2	4月21日 11時55分ころ	国道 (広島)	死亡3 重傷1 軽傷1	普通乗用1 中型貨物1	世羅郡世羅町内の国道において、普通乗用車がY字路交差点を右折する際、対向車両の安全確認を怠ったため、中型貨物車と衝突し、普通乗用車の乗員4名中、運転者が重傷、同乗者3名が死亡し、中型貨物車の運転者が軽傷を負ったもの。
3	5月11日 15時40分ころ	国道 (鳥取)	死亡3	普通乗用2	西伯郡伯耆町の国道において、軽四乗用車同士が正面衝突し、対向車線に進出した軽四乗用車の乗員1名、もう一方の軽四乗用車の乗員2名全員が死亡したもの。
4	6月5日 18時20分ころ	高速 (神奈川)	死亡3 重傷4	普通貨物1 中型貨物1	横浜市中区内の高速道路上において、普通貨物車が道路左側の壁に衝突後、インターチェンジ流入加速部先端に駐車中の中型貨物車に衝突し、普通貨物車の乗員7名中、運転者が重傷、同乗者3名が死亡、3名が重傷を負ったもの。
5	6月7日 0時35分ころ	国道 (埼玉)	死亡4	軽四乗用1 大型貨物1	さいたま市内の国道において、軽四乗用車が対向車線に進出し、対向車線を進行していた大型貨物車と衝突し、軽四乗用車の乗員4名全員が死亡したもの。
6	6月18日 8時20分ころ	国道 (北海道)	死亡3	普通乗用3	旭川市内の国道において、普通乗用車が交差点を右折する際、対向車線を直進してきた普通乗用車と衝突し、直進してきた普通乗用車はその弾みで、進路左側の歩道上で信号待ちのため停車中の自転車に衝突し、直進してきた普通乗用車の乗員2名全員、自転車の運転者が死亡したもの。
7	7月13日 16時28分ころ	市道 (北海道)	死亡3 重傷1	普通乗用1 徒歩4	小樽市内の市道において、普通乗用車が進行方向左側端を同方向に歩いていた歩行者4名と衝突し、歩行者3名が死亡し、1名が重傷を負ったもの。
8	11月1日 3時10分ころ	高速 (岩手)	死亡3 重傷2 軽傷1	普通乗用1 (落下物)	岩手県北上市内の高速道路上において、普通乗用自動車(キャンピングカー)が落下物を跳ね上げ、同落下物が燃料タンクに突き刺さり、燃料に引火して全焼。普通乗用車の乗員6名中、運転者が重傷、同乗者3名が死亡、1名が重傷、1名が軽傷を負ったもの。
9	11月18日 0時54分ころ	県道 (千葉)	死亡4	普通乗用1 大型貨物1	袖ヶ浦市内の県道において、普通乗用車が進路左側の縁石に衝突後、対向車線に進出し、対向車線を進行していた大型貨物車と衝突し、普通乗用車の乗員4名全員が死亡したもの。
10	11月21日 11時55分ころ	県道 (京都)	死亡3	普通貨物1 大型貨物1	京丹後市内の県道交差点において、普通貨物車が一時停止のある交差点を直進した際、左方から進行してきた大型貨物車と衝突し、普通貨物車の乗員3名全員が死亡したもの。
11	12月28日 15時50分ころ	高速 (東京)	死亡3	軽四貨物1	府中市内の高速道路上において、軽四貨物車がインターチェンジ出口分岐に衝突し、軽四貨物車の乗員3名全員が死亡したもの。

※ 平成26年中に発生し、各都道府県警察から報告を受けたものを集約した。

7 国家公安委員会委員長のコメント

昨年の交通事故による死者数は、4,113人で、14年連続の減少となりました。

これは、関係機関・団体等と連携して、薄暮時間帯における交通死亡事故抑止対策を始めとする各種対策を強力に推進したことに加え、国民の皆様やマスコミを始め関係方面の御協力により、交通安全の確保に取り組んできた成果であります。

しかしながら、交通事故死者数全体に占める65歳以上の高齢者の割合は高い水準で推移しており、飲酒運転や危険ドラッグ使用者による悲惨な交通事故が後を絶たないなど、交通事故情勢は依然として厳しい状況にあります。

交通事故のない安全で快適な交通社会を実現することは、国民全ての願いであり、政府の重要な課題であります。

国家公安委員会としても、引き続き、強い決意をもって、各地域の道路交通や交通事故の実態に応じた、街頭活動、悪質・危険な違反に対する取締り、交通安全教育、広報啓発活動、交通安全施設の整備等の総合的な交通事故防止対策について、警察を督励し、交通事故死者の更なる減少に取り組んでまいりたいと考えております。

国民の皆様方には、なお一層の交通安全の取組や安全行動の実践をお願いします。

8 警察庁長官のコメント

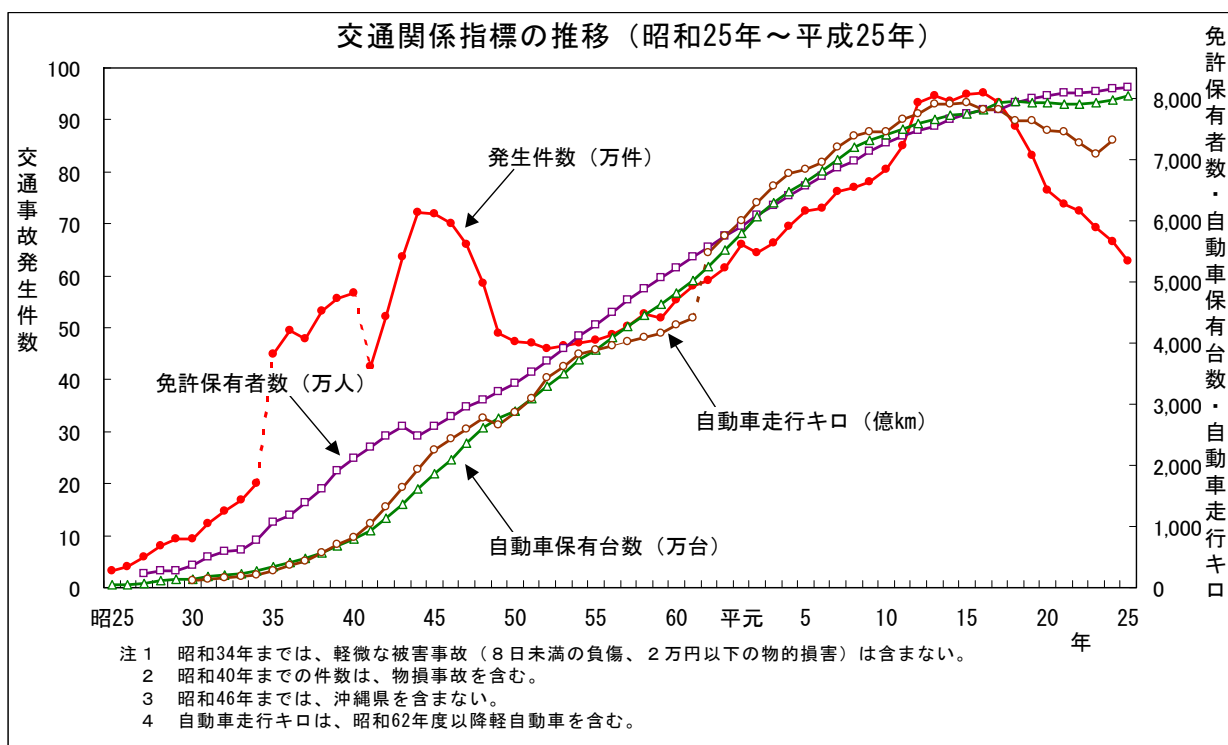
昨年、交通事故による死者数が4,113人で、14年連続の減少となり、また、発生件数及び負傷者数も、10年連続して減少となりました。

これは、全国警察のみならず関係機関・団体、交通ボランティア等の皆様方が、交通事故の減少に向け、連携・協働しながら諸対策に取り組んできた成果であると認識しております。

しかしながら、近年、交通事故死者数の減少幅は縮小傾向にあり、特に交通事故死者数全体に占める65歳以上の高齢者の割合が53パーセントを超えているほか、飲酒運転や危険ドラッグ使用者による悲惨な交通事故が後を絶たないなど、交通事故情勢は依然として厳しい状況にあります。

警察としては、引き続き、各界各層との連携を一層強化しながら、交通事故死者数の更なる減少に向け、高齢者対策を始め総合的な交通事故防止対策を強力かつ着実に推進してまいりたいと考えております。

交通関係指標



交通安全基本計画の推移

	計画期間	目 標	結 果
第一次	昭和46年度 ～50年度	<昭和50年の目標> 昭和50年における歩行中の交通事故死者数（予測値）の半減 8,000人 → 4,000人以下	昭和45年の歩行中の交通事故死者数 5,939人 昭和50年の歩行中の交通事故死者数 3,732人
第二次	昭和51年度 ～55年度	<昭和55年の目標> 過去最高時（昭和45年）の交通事故死者数の半減 16,765人 → 8,382人以下	昭和55年の交通事故死者数 8,760人
第三次	昭和56年度 ～60年度	<昭和60年の目標> 交通事故死者数 8,000人以下	昭和60年の交通事故死者数 9,261人
第四次	昭和61年度 ～平成2年度	<平成2年の目標> 交通事故死者数 8,000人以下	平成2年の交通事故死者数 11,227人
第五次	平成3年度 ～7年度	<平成7年の目標> 平成7年における交通事故死者数（予測値）の減少 13,500人程度 → 10,000人以下	平成7年の交通事故死者数 10,684人
第六次	平成8年度 ～12年度	<平成9年の目標> 交通事故死者数 10,000人以下 <平成12年の目標> 交通事故死者数 9,000人以下	平成9年の交通事故死者数 9,642人 平成12年の交通事故死者数 9,073人
第七次	平成13年度 ～17年度	<平成17年の目標> 交通安全対策基本法施行以降、最低時（昭和54年）の交通事故死者数8,466人以下	平成17年の交通事故死者数 6,927人
第八次	平成18年度 ～22年度	<平成22年の目標> 世界一安全な道路交通の実現を目指し、 交通事故死者数 5,500人以下 死傷者数 100万人以下	平成22年の交通事故死者数 4,922人
第九次	平成23年度 ～27年度	<平成27年の目標> 世界一安全な道路交通の実現を目指し、 交通事故死者数 3,000人以下 死傷者数 70万人以下	平成26年の交通事故死者数 4,113人